

台風 14 号の被災地で見た光景は、その被害の甚大さに驚き。

郷里(宮崎県)の災害救援に参加して！

日時／平成 17 年 10 月 17 日～22 日 場所／宮崎市延岡市、高千穂町

10 月 17 日より、台風 14 号で被害に遭った宮崎県に出かけました。宮崎県は妻の実家で延岡市(母方)と高千穂町(父方)にあります。県内の被害は死者 13 名、負傷者 23 名、床上浸水 2200、床下浸水 3000、全壊 1030、半壊 3044 世帯、その他の建物被害 480 箇所など甚大な被害に見舞われました。都会のメディアでは報道されない現実がそこにありました。

また、水害による家屋や道路の改修工事は、財政的に厳しい地方の自治体では、市民も行政も厳しいものがあり、全国的に募金活動を展開する広報活動が必要では。



延岡市の T 氏宅 (被害より一ヶ月目)



救援先の T 氏と撮影 (右が会員)

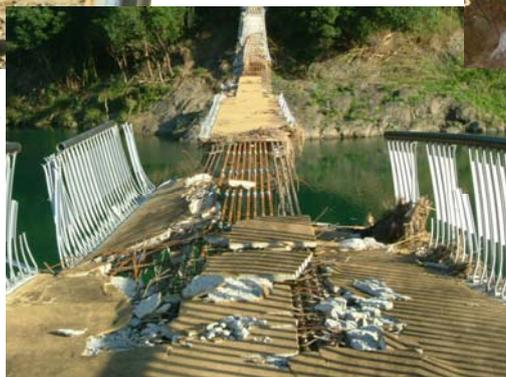
延岡市を流れる五ヶ瀬川上流の日之影町や北方町は、高千穂鉄道も寸断され、川に掛かる鉄橋は、三箇所が破壊され線路、橋梁は完全に流されていました。途中の線路には土砂が積もったり、枕木が浮いたり電気設備も破壊され、完全復興が難しい状態です。第三セクターでの経営は赤字続きで、支援する自治体も腰を引いている状態である。ボランティアセンターや高千穂町役場の職員と話では、鉄道復興には難色の色が…。



←
壊滅的被害の高千穂線
復興の目どが立たず。
日之影温泉駅の現状



⇒
破壊された五ヶ瀬川に
掛かるつり橋



↑台風 14 号の風で
つぶれた実家の鐘楼